

答 申 書

平成 2 2 年 8 月 5 日

宇都宮市上河内自治会議

目 次

はじめに	1
1 計画的に進んでいる事業	
（1）道路新設改良事業	2
（2）スマート I C 恒久設置事業	3
（3）上水道事業統合整備	4
（4）公共下水道整備事業	5
（5）児童の健全育成環境の整備	6
（6）中学校校舎整備事業	7
（7）中学校体育館整備事業	8
（8）中里原土地区画整理事業	9
（9）農道整備事業	10
2 検討段階にある事業	
（1）生涯学習センター整備事業	11
（2）農産物直売所等整備事業	12
（3）地域交流館整備事業	12
3 終了した事業	
（1）林道整備事業	13

はじめに

平成19年3月31日の市町合併後、4年目を迎え、市町合併時に策定された「合併市町村基本計画」の主要事業においては、これまでに各種事業が着手される中、終了した事業もあり、合併により上河内地域のまちづくりが着実に進んでおります。

このような中、特に平成22年度に工事完成を予定しております中里原土地区画整理事業や上河内スマートインターチェンジのフルインター化は、本市の北部拠点にふさわしい魅力ある居住環境を形成するうえで、将来、大変重要な役割を担ってくるものと考えております。

今回の答申にあたっては、進捗状況を明確にするために13の主要事業を3つに分類し、意見を述べております。

本答申により、上河内地域に引き継がれた「自然と人が共生し安心して暮らせる活力あふれる地域」の実現のため、今後も各種事業が着実に執行されることを望むものです。

1 計画的に進んでいる事業

(1) 道路新設改良事業

(進捗状況)

道路新設改良事業については、4路線（市道10111号線、市道13125号線、市道13045号線・13047号線、市道13127号線）が計画されております。

計画されている4路線のうち、市道10111号線については、平成21年度に改良工事が終了し、市道13125号線については、平成20年度から用地取得が進められるなど、計画的に整備が進められております。

<参考－執行状況>

	平成20年度	平成21年度	平成22年度(予定)
事業内容	市道 10111 号線改良工事	市道 10111 号線改良工事完了	
	市道 13125 号線用地取得	市道 13125 号線用地取得	市道 13125 号線用地取得等
	—	—	市道 13045 号線・13047 号線 用地取得等
	—	—	市道 13127 号線用地取得等
予算額	48百万円	202百万円	297百万円
累 計	101百万円	303百万円	600百万円

(意 見)

道路整備にあたっては、子どもや高齢者など歩行者等の安全を十分に考慮し、計画的に整備を進める必要があります。

また、道路整備は、上河内地域の交流人口の増加につながるなど、地域のまちづくりに大変重要な役割を果たすことから、今後も地域内の利便性を考え、必要な路線を重点的に整備することが望まれます。

(2) スマート I C 恒久設置事業

(進捗状況)

スマート I C への接続道路については、平成 22 年 3 月に上り線（県道）下り線（市道）ともに工事が完了しており、現在、ネクスコ東日本においてフルインター化に向けた準備を進めております。

<参考－執行状況>

	平成20年度	平成21年度	平成22年度(予定)
事業内容	用地買収、改良工事	舗装工事	舗装工事等
予算額	57百万円	33百万円	2百万円
累 計	159百万円	192百万円	194百万円
進捗率※	82.4%	99.5%	100%

※ 事業費に対する進捗率

(意 見)

フルインター化に伴い、大型車両の通行も可能となり、スマート I C の周辺道路においては、交通量の増加が見込まれることから、児童をはじめとする歩行者の安全を十分に確保するうえで、隣接する市道に歩道を設置するなどの安全対策が必要です。

さらに、宇都宮市の北の玄関口として広域的な交流が見込まれることから、開通後も企業誘致等、地域経済の活性化につながる計画的な基盤整備が望まれます。

(3) 上水道事業統合整備

(進捗状況)

上河内地域の上水道事業については、東部地区と西部地区の2つの施設で運営しています。このため災害等が発生した場合においても安定した給水ができるよう、平成21年度に策定した水道拡張事業計画に基づき、平成23年度以降に2つの施設を結ぶ東西連絡管の整備を計画的に進めていく予定です。

また、松風台団地の給水区域編入については、地元自治会との協議を行いながら給水区域編入を進めていくことになっております。

(意見)

東西連絡管は、安定給水を図るとともに効果的な水道運営を推進するために、速やかに整備を進める必要があります。

また、松風台の給水区域編入については、自治会・開発業者と十分な協議を行ったうえで整備を進めることが望まれます。

(4) 公共下水道整備事業

(進捗状況)

公共下水道整備事業については、平成21年度に中里地区を中心に污水管布設が行われ、上河内地域内の事業認可区域面積（238ha）に対する進捗率は58.5%となり、着実に整備が進められております。

<参考－執行状況>

	平成20年度	平成21年度	平成22年度(予定)
事業内容	公共下水道	公共下水道	公共下水道
	污水管渠築造工事	污水管渠築造工事	污水管渠築造工事
	特定環境保全公共下水道	特定環境保全公共下水道	特定環境保全公共下水道
	污水管渠築造工事	污水管渠築造工事	污水管渠築造工事
予算額	215百万円	295百万円	235百万円
実績累計	120.6ha	139.2ha	150.2ha
進捗率※	50.7%	58.5%	63.1%

※ 事業認可区域面積（238ha）に対する整備面積

(意見)

公共下水道は、地域の生活環境の向上や自然環境の保全のためにも大変重要であることから、今後も必要度の高い区域から順次計画的に整備することが必要です。

なお、公共下水道の整備には、長い年月と多大な経費が必要であるため、整備されるまでの間は、引き続き合併処理浄化槽設置の支援が望まれます。

（５）児童の健全育成環境の整備

（進捗状況）

児童の健全育成環境の整備については、平成２０年度に上河内中央小学校区域及び上河内西小学校区域に「子どもの家」が設置され、平成２１年度には、上河内東小学校区域の留守家庭児童会が上河内東小学校体育館内に移転されたことから、計画的に整備が進められております。

＜参考－執行状況＞

	平成20年度	平成21年度	平成22年度(予定)
事業内容	上河内中央小子どもの家開設		
	上河内西小こどもの家開設		
	—	上河内東小留守家庭児童会 移転(学校内既存施設へ)	—
設置箇所数	2箇所	—	—

（意 見）

上河内東小学校区域の留守家庭児童会については、平成２１年度に上河内東小学校体育館内に移転され、安全性は確保されましたが、今後、就学前の子どものために、早急に「子どもの家」へ移行することが必要です。

また、安心・安全な「子どもの家」を運営するためには、指導員の育成に努めるとともに、保護者からの意見を聞くことも必要です。

(6) 中学校校舎整備事業

(進捗状況)

中学校校舎整備事業については、上河内中学校普通教室棟の耐震補強工事が平成13年度に実施されております。

また、特別教室棟については、平成18年度に耐震1次診断、平成21年度に耐震2次診断が行われ、平成27年度までに耐震補強工事を完了する予定となっております。

<参考－執行状況>

	平成20年度	平成21年度	平成22年度(予定)
事業内容	—	上河内中学校特別教室棟 耐震2次診断	—
予算額	—	4百万円	—

(意 見)

中学校校舎の耐震化は、自然災害などから生徒の安全を確保する最優先事業であることから、計画どおり整備を進める必要があります。

なお、耐震化を実施するまでの間は、自然災害等はいづれ発生するかわからないため、日常的な点検整備が必要です。

(7) 中学校体育館整備事業

(進捗状況)

中学校体育館整備事業については、平成18年度に上河内中学校体育館の耐震1次診断、平成21年度に耐震2次診断が行われ、平成27年度までに耐震補強工事を完了する予定となっております。

また、武道場が未整備であるため、平成22年度に武道場の新築工事が予定されております。

<参考－執行状況>

	平成20年度	平成21年度	平成22年度(予定)
事業内容	—	上河内中学校体育館 耐震2次診断	—
	—	上河内中学校武道場 新築実施設計	上河内中学校武道場 新築工事
予算額	—	9百万円	147百万円

(意見)

中学校体育館については、地域の避難場所として大切な役割を果たす施設であることから、日常的な点検整備が必要です。

また、平成22年度に予定しております武道場工事の際には、生徒の安全に十分注意したうえで整備を進める必要があります。

(8) 中里原土地区画整理事業

(進捗状況)

中里原土地区画整理事業については、平成21年度までに全体の72.3%の整備が終了し、平成22年度末の工事完了に向け着実に整備が進められております。

また、換地処分については、平成23年度秋頃に予定しております。

<参考一執行状況>

	平成20年度	平成21年度	平成22年度(予定)
事業内容	・一次造成工事(2.56ha) ・路築造工事(239.4m) ・雨水管敷設工事(182.5m) ・街区画地点測設業務委託 ・道路詳細設計業務委託	・一次造成工事(1.56ha) ・水路築造工事(69.8m) ・街区画地点測設業務委託 ・地質調査業務委託 ・保留地販売(8区画)	・工事(造成:表土戻し,擁壁等) ・業務委託(換地計画書等作成,街区・画地出来形確認測量等) ・保留地販売 2,335 m²
予算額	197百万円	140百万円	183百万円
累計	事業費 359百万円	事業費 499百万円	事業費 682百万円
進捗率※	52.0%	72.3%	98.8%

※ 中里原土地区画整理事業費(690百万円)に対する事業費

(意見)

平成22年度の工事完了後は、北部地域の魅力ある拠点の創造のため、都市計画マスタープランとの関連を十分考慮したうえで、完成後のまちづくりについても支援していく必要があります。

(9) 農道整備事業

(進捗状況)

農道整備事業については、毎年度、計画的に整備が進められており、平成19年度から平成21年度までの3年間で、延べ4,222.3mの舗装工事が行われ、順調に整備が進んでおります。

<参考－執行状況>

	平成20年度	平成21年度	平成22年度(予定)
事業内容	農道舗装工事	農道舗装工事	農道舗装工事
予算額	22百万円	21百万円	17百万円
実績	1,481.0m	1,537.0m	2,467.0m

(意見)

農道整備事業については、上河内地域の主産業である農業をサポートするうえで大変重要な事業であるため、今後とも地域の声を反映し、引き続き計画的な整備が望まれます。

2 検討段階にある事業

(1) 生涯学習センター整備事業

(進捗状況)

生涯学習センター整備事業については、平成22年度に利用者が安全かつ快適に利用できるよう、老朽化の度合いなどを見極めながら、生涯学習とまちづくりの一体化も見据え、施設に必要な機能・規模等について関係部局等と連携を図りながら検討する予定であり、現在のところ整備には至っておりません。

なお、生涯学習センター整備事業に含まれている上河内体育館については、旧上河内町が実施した耐震診断により、「一部に補強が必要である」という結果が出ておりますが、当分の間は必要最小限の修繕を行うことになっております。

(意見)

上河内生涯学習センターは、老朽化が進んでいるとともに、狭隘であることやバリアフリーの対応が不十分であるため、早急に生涯学習センターのあり方など、整備方針を検討し、整備することが必要です。

また、整備に際しては、地域住民の意見を十分反映し、機能性が高く誰もが安全かつ快適に利用できる施設となることが望まれます。

（２）農産物直売所等整備事業

（進捗状況）

農産物直売所等整備事業については、地域の状況を把握する必要があるとともに、事業主体・整備手法の検討が必要なことから、現在のところ整備には至っておりません。

（意 見）

農産物直売所の整備は、地産地消の推進や地域産業の活性化、さらには上河内地域の特色である「農」を活かした交流を推進するには重要であり、今後の地域のまちづくりを考慮し、検討する必要があります。

また、引き続き、地域住民の盛り上がりや地域を活性化しようとする仲間づくりなどに対する支援が必要です。

（３）地域交流館整備事業

（進捗状況）

地域交流館整備事業については、利用者へのサービス向上や運営の円滑化を図るため、交流拠点としての整備や施設内容の検討が進められているところですが、現在のところ整備には至っておりません。

（意 見）

地域交流館は、上河内地域の情報発信地として重要な役割を担っておりますことから、更に都市間交流拠点としての整備が必要です。

また、整備計画の策定にあたっては、交流人口の増加につながる足湯の設置など、地域の意見を十分に反映することが望まれます。

3 終了した事業

(1) 林道整備事業

(進捗状況)

林道整備事業については、平成20年度に林道今里羽黒線の改良工事、平成21年度に林道矢白線の舗装工事及び東北自動車道高架橋3橋（天ヶ沢橋・前久保橋・山口橋）の工事が終了し、計画どおり整備が終了しました。

<参考－執行状況>

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
事業内容	林道今里羽黒山線草刈及び 側溝清掃 L=400m	林道今里羽黒山線改良工事 L=60.0m	
	—	林道矢白線舗装工事 L=627.7m	林道矢白線舗装工事 L=305.1m
	—	—	高速道路高架橋3橋 剥離防止工事(天ヶ沢橋・前 久保橋・山口橋)
予算額	1百万円	27百万円	44百万円

(意見)

今後は、林業振興や自然環境保全の観点から、林道パトロールや現地調査を継続的に実施し、計画的な維持管理が必要です。

～ 審議の経緯 ～

- | | | |
|-------|-------|------------------------------|
| 平成22年 | 4月26日 | 第1回宇都宮市上河内自治会議 |
| | | ・ 市長から「合併市町村基本計画の執行状況について」諮問 |
| | | ・ 各事業の進捗状況について調査・審議 |
| 平成22年 | 6月 7日 | 第2回宇都宮市上河内自治会議 |
| | | ・ 答申書（素案）の審議 |
| 平成22年 | 7月26日 | 第3回宇都宮市上河内自治会議 |
| | | ・ 答申書（案）の審議 |
| 平成22年 | 8月 5日 | 答申書を市長に提出 |

～ 上河内自治会議委員名簿 ～

会 長	太 田	正
副会長	神 山 光	男
委 員	江 連	俊
委 員	手 塚 敏	子
委 員	古 橋 悟	一
委 員	江 連	功
委 員	小 野 久	男
委 員	柏 木 聖	子
委 員	北 見 和	弘
委 員	北 見 幸	夫
委 員	柴 田 征	男
委 員	鈴 木 幸	男
委 員	手 塚 道	子
委 員	福 島 照	喜
委 員	横 塚	境
委 員	和 田 春	海
委 員	小 林 和	美
委 員	櫻 井 清	一
委 員	佐 藤 きよ	子
委 員	藤 井 直	和